



常陸太田市

議会だより

Hitachiota City Council

No.172

令和5年5月

常陸太田市議会



第8回常陸太田市フォトコンテスト入賞作品

主な内容

- 令和5年度施政方針 P2～3
- 議案賛否一覧 P4～5
- 議案質疑 P6
- 一般質問 P7～9
- 常任委員会審査 P10～11
- 予算特別委員会 P12
- 議会運営委員会・議会日誌 P13
- 議会報告・意見交換会開催 P14



藤田 謙二 議長

議長あいさつ

令和5年度の「常陸太田市議会だより」の発行に
あたり議会を代表してごあいさつを申し上げます。
市民の皆様には、日頃から市議会に対する深いご
理解と市政に対するご協力をいただき、心から感謝
申し上げます。
1月の第1回臨時会では、出産・子育て応援給付
金に係る補正予算について審議し、3月の第2回定
例会では、令和5年度各会計予算や議員提出議案な
ど計42件について審議を行いました。

一般質問では6人の議員が質問に立ち、教育、福
祉、観光など多岐にわたる議論が交わされました。
私も議会といたしましては、二元代表制の一翼
を担う議事機関として、議会基本条例を遵守し、議
会改革をさらに進めていくとともに、市民の皆様
の付託に応え、より信頼される議会となるため鋭意努
力してまいります。
結びに、市民の皆様のご健勝を心からお祈
り申し上げます、ごあいさつとさせていただきます。

第1回臨時会・第2回定例会

■市政運営の基本方針

この一年間、市長就任時の公約である「安全
安心なまちづくり」、「健康で快適な市民生活の
実現」、「少子化人口減少対策」、「活力ある産業
づくり」の4つの重点施策の推進と、前市長か
ら引き継いだ「東部土地区画整理事業」、「市道
0139号線真弓トンネルの整備」、「新総合体
育館建設」の3つのプロジェクトを着実に実現
するという基本姿勢のもと、「持続可能な魅力溢
れるふるさと常陸太田」の実現を目指し、各種
施策を進めてまいりました。

刻々と変化する社会経済情勢や複雑・多様化
する市民ニーズに、柔軟かつスピード感を持つ
て対応するため、企画課内にデジタル化推進室、
市民課内にマイナンバー推進室、健康づくり推
進課内にフレイル対策室、スポーツ振興課内に
新体育館建設準備室の専門部署を設置すると

もに、政策推進課の組織機能を強化し、主要施
策を政策パッケージとして進行管理し、組織横
断的な取り組みに努めてまいりました。

重点施策におきましては、一定の成果がござ
いました。新たに着手した事業が多く、各施
策を更に押し進めていくためには、令和4年度
をベースとした、事業の継続・強化を行うこと
が重要であります。このため令和5年度当初予
算を「重点施策のステッ
プアップ予算」と位置づ
け、「4つの重点施策及び
3つのプロジェクト」の
更なる推進に加え、「デ
ジタル化」や「カーボン
ニュートラル」の取り組
みを力強く推進してまい
ります。



■提案理由説明（要旨）

第1回臨時会（1月20日）の提出議案は、国
の令和4年度第2次補正予算におきまして、妊
婦・子育て家庭への伴走型相談支援及び出産・
子育て応援給付金の一体的実施事業が創設され
たことに伴う補正予算1件でございます。

第2回定例会（3月3日から23日）は、条例
の制定3件、条例の一部改正3件、関係条例の
整理4件、条例の廃止1件、訴えの提起1件、
市道路線の廃止・認定それぞれ1件、令和4年
度補正予算9件、令和5年度当初予算8件、合
わせて31件でございます。

なお、会期中に人事案件3件を追加提案する
予定でございます。



令和5年 第2回定例会

令和5年度予算総額

427億2,531万円

■令和5年度予算の概要

令和5年度一般会計予算は、対前年比2.8%増の254億5,300万円で、特別会計、公営企業会計を合わせると前年度比0.8%減の427億2,531万円となります。

— 令和5年度の一般会計主要事業 —

令和5年度の主な事業の一部を紹介します。

安全安心なまちづくり

●河川維持及び内水対策 …………… 9,703万円

近年の集中豪雨等による想定外の災害に備え、河川を適正に維持管理するとともに、内水被害を未然に防止

●公共交通次世代技術導入 …………… 9,786万円

東部地区などでバスタイプのEV自動運転車両を実装運行、MaaS × eコマース・貨客混載導入調査、乗合タクシーの充実につなげるためのAI運行システムを導入



健康で快適な市民生活の実現



●健康診断・各種検診 …………… 7,829万円

病気の予防・早期発見につなげるため、健康診断や各種検診に基づく健康指導等を実施

●町田運動公園整備 …………… 1億3,431万円

市民が健康づくりやスポーツを気軽に楽しめる場として、町田運動公園を新設

少子化・人口減少対策

●包括的な子育て支援 …………… 1,638万円

妊娠、出産、子育てに関する切れ目のない子育てサポートを「ここキララ」で実施

●東部土地区画整理 …………… 2億2,128万円

働く場の確保と買い物環境の整備等に向けた区画整理地内の公園、防火水槽、排水整備工事を実施



活力ある産業づくり



●産地生産基盤パワーアップ …………… 1億1,984万円

高収益な作物・栽培体系への転換支援や、有機農作物の生産、経営拡大にチャレンジする生産者への支援を実施

●観光施設整備 …………… 3億5,453万円

30周年を迎える竜神大吊橋の塗装改修・周辺整備や、旧金砂郷保健センター跡地利活用に向けた調査等を実施

第1回臨時会・第2回定例会議案賛否一覽

△全会一致で可決・同意した議案▽

第1回臨時会		議案名	付託委員会	議決結果
議案第1号	令和4年度常陸太田市一般会計補正予算(第11号)について	本会議	原案可決	
第2回定例会				
報告第1号	専決処分の報告について(和解について)	本会議	報告	
議案第2号	令和4年度常陸太田市下水道事業等会計補正予算(第4号)について	本会議	原案可決	
議案第3号	常陸太田市公共施設等総合管理基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について	総務	原案可決	
議案第4号	常陸太田市中小企業・小規模企業振興条例の制定について	産業建設	原案可決	
議案第6号	常陸太田市診療所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の一部改正について	文教民生	原案可決	
議案第7号	常陸太田市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について	産業建設	原案可決	
議案第8号	常陸太田市郷土資料館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	文教民生	原案可決	
議案第10号	民法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理について	文教民生	原案可決	
議案第11号	こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理について	文教民生	原案可決	
議案第12号	児童福祉施設の設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴う関係条例の整理について	文教民生	原案可決	
議案第13号	常陸太田市緑地広場の設置及び管理に関する条例の廃止について	産業建設	原案可決	

議案第14号	訴えの提起について	産業建設	原案可決
議案第15号	常陸太田市道路線の廃止について	産業建設	原案可決
議案第16号	常陸太田市道路線の認定について	産業建設	原案可決
議案第17号	令和4年度常陸太田市一般会計補正予算(第12号)について	総務	原案可決
議案第18号	令和4年度常陸太田市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	文教民生	原案可決
議案第19号	令和4年度常陸太田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	文教民生	原案可決
議案第20号	令和4年度常陸太田市介護保険特別会計補正予算(第3号)について	文教民生	原案可決
議案第21号	令和4年度常陸太田市水道事業会計補正予算(第3号)について	産業建設	原案可決
議案第22号	令和4年度常陸太田市工業用水道事業会計補正予算(第2号)について	産業建設	原案可決
議案第23号	令和4年度常陸太田市簡易水道事業会計補正予算(第3号)について	産業建設	原案可決
議案第24号	令和4年度常陸太田市下水道事業等会計補正予算(第5号)について	産業建設	原案可決
議案第29号	令和5年度常陸太田市水道事業会計予算について	予算特別	原案可決
議案第31号	令和5年度常陸太田市簡易水道事業会計予算について	予算特別	原案可決
議案第32号	令和5年度常陸太田市下水道事業等会計予算について	予算特別	原案可決
議案第33号	和解について(追認)	本会議	原案可決

議案質疑

議案質疑とは、本会議での議案の説明だけではわからないことを質問する行為のことです。

議案第1号 令和4年度常陸太田市一般会計補正予算（第11号）について
（一般会計歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3,923万3千円を追加し、総額を274億4,711万6千円とするもの）

問1 助産師派遣業務委託料について、何名の助産師に何を委託するのか伺いたい。

答1 伴走型相談支援として茨城県助産師会に委託するものであり、5名の助産師を予定している。委託内容は、出生した子の養育者に対し、産後の過ごし方や健康状態を把握するための面談による相談支援に加え、支援サービスなどの情報提供に関することである。

問2 令和3年度の出産件数は196件であったが、令和4年度の出産件数について伺いたい。

答2 令和4年4月から12月までの実績が129件、令和5年1月から3月までの見込みが73件で、合計202件を見込んでいる。

議案第3号 常陸太田市公共施設等総合管理基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について
（常陸太田市公共施設等総合管理計画の着実な推進のため、本条例を制定するもの）

問1 条例制定の基金の考え方について伺いたい。

答1 自主財源の乏しい本市において、今後、公共施設の大規模改修や解体等に伴って必要となる高額な費用を単年度の予算で支出すれば、当該年度の市民サービスに必要な財源に大きく影響する。将来にわたり住民サービスに充当すべき必要な財源を確保するため、必要な措置であると考えている。

議案第5号 常陸太田市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について
（「個人情報の保護に関する法律」の地方公共団体に係る規定が令和5年4月1日から施行されるため、本条例を制定するもの）

問1 「個人情報の保護に関する法律」の改正に伴い、地方公共団体と国との関係がどのようになるのかについて伺いたい。

答1 これまでの個人情報保護制度は、国、地方公共団体、民間事業者等でそれぞれ異なる法令の下で運用されてきたが、今回の改正によって「個人情報の保護に関する法律」に基づく全国統一の規定により運用されることとなる。なお、地方公共団体が保有する個人情報の開示請求等の各種手続については、引き続き地方公共団体が行うことになるが、法令に基づく解釈や運用等については、「個人情報の保護に関する法律」を所管する国の個人情報保護委員会が監督・助言・指導等を行うことになる。



鴨志田 悟 議員

問1 コロナ禍での小中学校教育の推進について、その現状と課題を踏まえた今後の取り組みについて、また、コロナ禍の中の心の不安定な児童生徒の心のケアについて伺いたい。

問2 コロナ禍の中での小中学校教育の推進は環境にも配慮した新総合体育館の整備を

問1 コロナ禍での小中学校教育の推進について、その現状と課題を踏まえた今後の取り組みについて、また、コロナ禍の中の心の不安定な児童生徒の心のケアについて伺いたい。

答1 教育長 コロナ禍で制限された教育活動を充実したものにするため、一つの方法として、教育のデジタル技術を活用した教育改革を積極的に推進して



石川 剛 議員

問1 不妊治療費の支援拡充と年齢制限の撤廃を

問2 持続可能な消費喚起と商工業のさらなる振興は

問1 保険適用外といわれる先進治療を受けなければならぬ方にとっては全額自費での治療となり経済的な負担を抱えるケースがある。そこで本市独自の不妊治療費助成事業について伺いたい。

答1 保健福祉部長 本市における不妊治療費助成事業は、男女とも不妊治療の助成対象は保険適用外で行った特定不妊治療について1回の申請につき10万円を

る。また、タブレット端末を効果的に活用するため、ICT支援員を授業サポーターとして配置したり、教職員研修の講師として活用したりすることで、教職員の指導力向上を図っている。その上、授業中の協働的な学びの場面においても、タブレット端末を活用し、意見交換のツールとしての機能を発揮させている。

コロナ禍の中で不安を抱えている子どもに対しては、学校生活や

学習を支援するために特別支援教育指導員35名を小学校を中心に配置するとともに、不安や悩みの解消に向けては、専門的な助言がもらえるスクールカウンセラーを各校に派遣している。

本市は、昨年「ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、脱炭素社会の実現に向けて挑戦を始めたところである。そこで、新総合体育館の環境に配慮した計画

について伺いたい。

答2 教育部長 SDGsの考えを踏まえ、LED照明、人感センサー及び太陽光パネルの設置、自然の光や風を取り入れる等を整備基本として計画している。さらに電気自動車充電設備の設置や屋根、外壁等に耐熱性能や断熱性能を高めた材料を取り入れるなどの光熱水費削減等の環境に配慮し、百年建築を目指した検討を進めている。

上限に助成を行っている。県内では保険適用又は保険適用外を問わず、治療費の自己負担分や保険適用後の自己負担分、本市のように保険適用外での治療費に対して助成を行っている自治体もあり、助成額も様々な状況である。なお年齢制限については男性の年齢制限はないが、女性は県の助成事業と同様の43歳未満の方を対象としている。

問2 キャッシュレス決済を活用した消費喚起策とプレミアム付商品券の実績と効果について伺いたい。

答2 商工観光部長 電気代等のエネルギーや食料品価格等の物価高騰の影響を受けている市民の負担軽減と市内事業者を支援するため市内対象店舗でペイペイによるキャッシュレス決済金額の15%をポイント還元する事業を

行った。また、プレミアム付商品券はプレミアム率を30%に増やし希望者全員が購入できるように追加発行し実施した。ペイペイを活用した事業は総決済金額で約2億9800万円、プレミアム付商品券は約2億7500万円の経済効果があった。これら2つの事業により市内での店舗売上向上や物価高騰の影響を受けている市民の負担を一定程度、軽減することが出来たと考えている。

【石川 剛 議員 質問事項】

- 不妊治療費の支援拡充について
- 持続可能な地域振興と活性化について



【鴨志田 悟 議員 質問事項】

- コロナ禍での小中学校教育の推進について
- 新総合体育館整備について





平山 晶邦
議員

問1

観光行政の受け皿となっている指定管理団体の今後の在り方について

問1

本市は茨城県の観光の重要なポジションに位置する地域である。竜神大吊橋を始めとして歴史と伝統に裏打ちされた街並みと温泉施設等を含め、本市は観光行政に積極的に対応している。

本市に限らず、全国的にコロナ後の観光環境は様変わりしている状況がある。本市観光行政の中核を担っている指定管理の運営も昨今のインフレや人件費の高騰、人手不足など社会環境も大きく変化し

答1

総務部長 指定管理団体は市の重要事業として発展させていくためには、受け皿となる3つの指定管理団体を効率よく運営して発展させながら社会環境に対応したイノベーションを常に図っていく、資本的にも環境変化に対応できる組織体制を作っていく必要があると考えるが、今後の指定管理団体の在り方のご所見を伺いたい。

総務部長 指定管理団体は市が出資する第三セクターとして設立され、地域における資源を活用した事業の展開と雇用の場の創出など、大きな役割を果たしてきたと認識している。本市における観光行政は、地域資源等を面として捉え、様々な資源を有機的につなげ全体として取り組んでいる。一方で、各地域に根差した独自イベントや祭りなど継承さ

れてきた地域の文化なども尊重した事業に取り組んでいる。今後とも観光を交流人口拡大や地域振興に繋がる重要事業として、市全体で進めていくためには、その一翼を担う指定管理団体も社会環境の変化に柔軟に対応し、持続可能な運営が可能となる力強い組織体制へと変革していくことも必要ではないかと考え、今後の研究課題とする。



深谷 渉
議員

問2

物価高から暮らしを守る市独自の支援策は水道管からの漏水の早期発見に最新技術の導入を

問1

本年も4月にかけて電気料金や7千品目を超える飲料品の値上げが予定されている。企業活動や生活は厳しい状況である。本市のこれまでの支援策の現状と今後の対策を伺いたい。

燃料の使用金額に比べて、上限50万円の支援金を支給した他、高圧電力を使用する事業者を対象に、使用電力量に応じて上限50万円の支援金を支給を行った。

燃料の使用金額に比べて、上限50万円の支援金を支給した他、高圧電力を使用する事業者を対象に、使用電力量に応じて上限50万円の支援金を支給を行った。

燃料の使用金額に比べて、上限50万円の支援金を支給した他、高圧電力を使用する事業者を対象に、使用電力量に応じて上限50万円の支援金を支給を行った。

答1

深谷 渉議員 企業への支援策は、地方交付金を活用し、燃料価格高騰の影響が大きい、旅客や貨物運送事業者・宿泊事業者・温浴施設などを対象に、

燃料の使用金額に比べて、上限50万円の支援金を支給した他、高圧電力を使用する事業者を対象に、使用電力量に応じて上限50万円の支援金を支給を行った。

燃料の使用金額に比べて、上限50万円の支援金を支給した他、高圧電力を使用する事業者を対象に、使用電力量に応じて上限50万円の支援金を支給を行った。

問2

市民が長く安心して使うことが出来る水道の実現の為に、まず漏水箇所を早期に発見し、的確に対処する必要がある。近年、デジタル技術を利用した調査、人工衛星とAIを活用した調

答2

上下水道部長 人工衛星とAIを活用した漏水調査については、多額の導入費用がかかることや、漏水発見箇所の精度がまだ低いこと、現地での再調査が必要であることなどの課題もあるため、先進事例の情報収集を行いながら調査研究をしている状況である。

【深谷 渉 議員 質問事項】

- 物価高から暮らしを守る支援策について
- 高齢者の社会参加について
- 行政窓口の効率化について
- 上水道について



【平山 晶邦 議員 質問事項】

- 投票所入場券の確認について
- 観光行政の指定管理団体について





宇野 隆子 議員

問1

2月に自動運転EVバス実証実験が市街地のコースで行われた。私は試乗してみても、渋滞や追突の危険を懸念した。今後、市民や観光客などの多様な移動ニーズなどに対応しながら魅力あるまちづくりのため、4月に開業する東部地区商業施設での運用を目指すとしている。新年度予算でEVバスの実装運行などに、約9700万円が計上されている。環境にやさしいEVバスではあるが、

問1

自動運転EVバスの実運用は十分な検討を

広がる学校給食無償化、本市でも早期実現を

「最小限の予算で最大の効果を上げる」には、実運用はかなり課題があるのではないかと。実運用に向けた考えについて伺いたい。

問2

コロナ禍が続き、物価高の影響が広がる中、小中学校の学校給食無償化が254自治体に広がり、5年間で3倍に上がっている。新年度から県内でも日立市・北茨城市（現在中学校は無償）など4市3町で無償にする予定である。本市では、県内でさきがけて小中学校の給食費2分の1公費負担としているが、市民・保護者の願いに応え、子育て支援の取り組みを広げて、完全無償化

の道を開いてほしい。小中学校の給食費は国の責任で無償化することが必要だが、自治体に広がっている学校給食の完全無償化に倣い、本市の学校給食を無償化することについて伺いたい。

答1

企画部長 実証実験時の走行やアンケート結果等から、安全性や社会受容性等について取りまとめ、それらの結果に基づき実運用に向け検証・検討をしていく。

答2

教育部長 今後も現在の措置を継続し、給食の質、量、栄養価の確保に努め、保護者の経済的負担の軽減を図っていく。



高木 将 議員

問1

大規模予算を必要とする事業における議会の関わり方について伺いたい。

問1

新総合体育館建設について

問2

外的要因による資材価格変動が生じた際の事業推進の在り方について伺いたい。

問3

大型ビジョンやリボンビジョン設置についての考えを伺いたい。

答1

市長 大規模な公共事業を推進するにあたり、説明や報告が必要な事項については、全員協議会や各常任委員会などにおいて、節目節目に議会へ丁寧な説明をしているところである。

答2

市長 事業の推進にあたっては、コスト管理を徹底するとともに、併せて世界情勢の変化などにより資材価格の高騰などの外的要因が生じた場合には、補助金の変更申請等、国や県と協議し、適切に対応したいと考えている。

答3

教育部長 本件に関する現地視察先ではVリーグ等の試合前の選手紹介やスコアの表示などに利用していた。市民レベルのスポーツ大会においては複数コートスコアを同時にビジョンに表示することで、試合の進捗状況を画像で把握でき、円滑な大会

運営や競技への効果的な演出が図られるものと考えている。イベント時には市政や観光のPR動画を、避難所開設時には避難されている方が一斉に情報取得できるようにメディアからの災害情報を放映するなど、スポーツ利用に限定することなく、柔軟な利活用により、有効活用に努めていく。

【高木 将 議員 質問事項】
●新総合体育館建設について



【宇野 隆子 議員 質問事項】
●東海第二原発の再稼働問題について ●自動運転EVバスの運用について ●新型コロナウイルス感染症対策について ●新総合体育館建設について ●学校給食の無償化について



総務委員会

総務委員会では、条例の制定2件、条例の整理1件、補正予算1件、請願1件、合計5件の審査を行い、付託された4議案を全会一致により原案可決すべきものと決定、請願1件を不採択すべきものと決定した。

▼主な質疑応答

議案第17号 令和4年度常陸太田市一般会計補正予算(第12号)について

〔一般会計歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ9億8394万4千円を減額し、総額を264億6317万2千円とするもの〕

問 インフルエンザ予防接種委託料と新型コロナウイルスワクチン接種委託料の減額に関し、ウイルス流行の現況について伺いたい。

答 インフルエンザウイルスの流行については、学校で集団発生したものの、当初の想定よりも多い状況にはない。新型コロナウイルスの流行については、2月上旬まで感染者が増えていたが、3月現在では減っている状況である。

請願第1号 「安保関連3文書」の閣議決定の撤回、「防衛費」増に反対する意見書提出を求める請願書

〔国家安全保障戦略、国家防衛戦略、防衛力整備計画の閣議決定撤回と、防衛費増額の中止を求めもの〕

意見

ロシアによるウクライナ侵略、北朝鮮のミサイル技術の向上、中国の軍事力増強など、わが国を取り巻く安全保障環境の厳しさが増す中、国民の命と暮らしを守るためには、自分の国は自分で守ることを基本にしつつ、日米同盟のもと、外交力を強化することが重要である。国家安全保障戦略には、安全保障に関わる総合的な国力として、第1が外交力、第2が防衛力、第3が経済力、第4が技術力、第5が情報力であり、防衛力の強化の前提として外交力の強化が謳われている。さらに、平和国家として、憲法及び国際法の範囲内で、専守防衛に徹すること、先制攻撃は許されないことが明記されている。

【総務委員会】

委員長 菊池勝美 委員 平山晶邦
副委員長 茅根 猛 // 深谷 涉
委員 後藤 守 // 鴨志田 悟

文教民生委員会

文教民生委員会では、条例の一部改正2件、関係条例の整理3件、補正予算3件、合計8件の審査を行い、付託された8議案を全会一致により原案可決すべきものと決定した。

▼主な質疑応答

議案第8号 常陸太田市郷土資料館の設置及び管理に関する条例の一部改正について

〔博物館法の一部を改正する法律(令和4年法律第24号)が令和4年4月15日に公布され、令和5年4月1日から施行されるため、本条例の一部改正を行うもの〕

問 今回の改正により、市郷土資料館が博物館法に定める登録博物館から、地方自治法に定める公の施設となるのか、また現場における運営については、これまで通り影響なく運営されるのか。

答 条例の制定の根拠を博物館法から地方自治法に改めるということで、体制や運営に変更はない。

議案第18号 令和4年度常陸太田市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について

〔国民健康保険特別会計予算の総額から歳入歳出それぞれ1155万5千円を減額し、総額を53億7377万2千円とするもの〕

問 保険基盤安定繰入金の保険税軽減分の増額理由について伺いたい。

答 7割軽減世帯が2255世帯、5割軽減世帯が1280世帯、2割軽減世帯が1019世帯、合計で当初予算より248世帯増の4554世帯が軽減世帯となっている。増えた要因として、令和4年度は国民健康保険に加入している世帯の全体の総所得金額が前年度と比べ、約4億円、4.2%の減となっていることから、軽減世帯が増えたものと考えている。

【総務委員会】

委員長 小室信隆 委員 高木 将
副委員長 益子慎哉 // 藤田謙二
委員 宇野隆子 // 根本 仁

産業建設委員会

産業建設委員会では、条例の制定1件、条例の一部改正1件、条例の廃止1件、訴えの提起1件、市道路線の廃止1件、市道路線の認定1件、補正予算4件の審査を行い、付託された10議案を全会一致により原案可決すべきものと決定した。

▼主な質疑応答

議案第4号 常陸太田市中小企業・小規模企業振興条例の制定について

問 (本市の中小企業及び小規模企業の振興に向けて、基本理念、市の責務及び中小企業等の振興に関する施策の基本となる方針を定めるため、本条例を制定するもの)

答 条例の必要性と効果について、またどの程度、市内企業の受注機会の確保が期待されるのか。

答 地域経済、雇用の基盤、地域社会の発展を支える市内中小企業の振興のための必要性和、本条例の制定により地域社会の発展と市民生活向上に寄与する効果があるものと考えている。なお、これま

でも関係法令や市の財務規則等へのつとり、市内企業の受注機会確保に対応しているところである。本条例は、それらを市の責務として明文化したものである。

議案第13号 常陸太田市緑地広場の設置及び管理に関する条例の廃止について

(常陸太田市緑地広場葉草の里を用途廃止するため、本条例を廃止するもの)

問 廃止後の管理について伺いたい。

答 借地については返還し、市有林として適正に管理していく。

市有林整備の方向性としては、スギやヒノキといった人工林の整備のほか、本用途廃止箇所のように景観維持が必要な地点や人家付の広葉樹林についても、適正に管理をしていく。

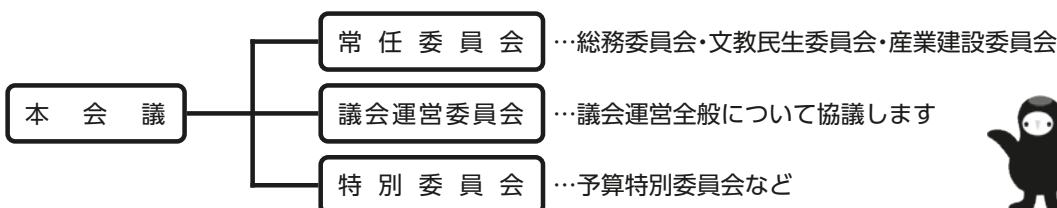
【総務委員会】

委員長 森山一政 委員 深谷秀峰
副委員長 高星勝幸 委員 石川剛
委員 成井小太郎



委員会とは？

第2回定例会では、予算特別委員会が設置されました。そこで、今回は委員会について解説します。常陸太田市議会では、市の事業部門を3つに分けて所管の常任委員会(総務委員会・文教民生委員会・産業建設委員会)が専門的に審査を行い、その結果を本会議における決定に役立てています。また、円滑な議会運営のため、議会運営全般について協議する議会運営委員会が設置されています。特別委員会は、特別に審議が必要な案件がある場合に、議会の議決をもって設置されます。第2回定例会では、新年度の予算審査を行うため、議長を除く全議員で構成される予算特別委員会が設置され、2日間にわたり審査が行われました。その他、議会だよりの編集や議会報告・意見交換会の運営などを行う広報委員会が設置されています。



予算特別委員会を開催

－ 令和5年度一般会計・特別会計3件・企業会計4件を審査 －

予算に関する議案第25号から議案第32号までを審査するため、予算特別委員会が3月9日に設置されました。議長を除く16名の議員が委員に選任され、3月16日と17日の2日間にわたり審査が行われ、一般会計の総額254億5,300万円、特別会計の総額122億8,226万円、公営企業会計の総額49億9,005万円、合計427億2,531万円について審査いたしました。

一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、工業用水道事業会計については、賛成多数により原案可決すべきものと決定。その他3会計については全会一致により原案可決すべきものと決定しました。



予算特別委員会 委員長 小室 信隆
副委員長 益子 慎哉

－ 主な質疑内容 －

問 財政計画における財政調整基金の見通しについて

答 財政調整基金は経済事情の著しい変動により財源が著しく不足する場合や、災害により一時的に生じた減収分を埋める場合などに活用するもので、令和5年度予算では物価高騰に伴う電気料高騰などにより令和4年度と比較し約4億9,000万円の増額となっている。標準財政規模が約150億円である本市の場合、その20%程度、約30億円は維持しなければならないと考えている。



行政情報アプリ
「じょうづるさんナビ」

問 行政情報アプリ導入事業について

答 住民票（写）の発行や転出入などのオンライン手続、プッシュ通知の機能等を備えたアプリケーションの構築を進めているところである。

問 デジタルデバインド対策事業におけるスマートフォン使い方講座について

答 ICT（情報通信技術）の活用能力の違いによって生じる格差（デジタルデバインド）の解消を目指し、スマホ購入助成申請者（65歳以上）1カ月あたり約30人に、インターネットや電話、カメラの使い方などについて、全5～6回の講座を受講していただく予定である。

問 自動運転導入調査委託料及び自動運転運行委託料について

答 自動運転導入調査委託料を活用し、行政、運行事業者や商業施設事業者等と、市のニーズに合った輸送を実現するための協議会を設立予定である。また、8月頃からはスマートフォンから食料品などの注文を受け付け、自動運転車両などで運搬する貨客混載の導入調査を実施予定である。自動運転運行委託料については、事業者決定後、3Dマップ作成などの準備を行い、2月に実装運行を実施予定である。

問 森林・林業・木材普及啓発事業委託料について

答 森林環境譲与税を活用し、小中学校の机の天板を市産材を活用した天板に交換するものである。整備計画を見直し、令和5年度から毎年500枚程度を交換し、5年間で完了する予定である。



トルコ・シリア地震義援金を茨城新聞文化福祉事業団へ寄託しました

トルコ共和国南部のシリア国境付近を震源とした地震の発生により、犠牲になられた方々の御冥福及び被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。常陸太田市議会議員全員の総意により、被災地における復旧・復興にお役立ていただくため、令和5年3月23日に義援金として17万円を茨城新聞文化福祉事業団へ寄託いたしました。



常陸太田市東部地区を視察しました

3月18日、議員研修会として、常陸太田市東部地区の一部の商業施設を視察しました。施設内では、開店に向けた準備などについて担当者より説明いただきました。買い物環境の向上や雇用の創出、若者世代の定住促進など、「持続可能なまちづくり」に向けて開発が進む様子について理解を深めることができました。

議会運営委員会

1月13日に第1回臨時会の運営について審議した。1月20日には、第2回定例会の会期等について審議した。2月21日には、第1日の日程、議案等委員会付託、一般質問・議案質疑の通告期限及び一般質問の方法・時間制限について、3月3日には一般質問通告者について、3月17日には、最終日の日程、追加議案、議員提案について、審議を行った。



委員長	茅根 猛	副委員長	高木 将
委員	高星 勝幸	委員	菊池 勝美
”	小室 信隆	”	森山 一政

人事紹介

3月に茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員一般選挙が行われ、小室信隆議員が当選しました。

議会日誌

1月5日	広報委員会
12日	文教民生委員会所管事務調査
13日	議会運営委員会・議会改革推進会議
19日	茨城県市議会議長会定例会
20日	第1回市議会臨時会・議会運営委員会・全員協議会・総務委員会協議会・文教民生委員会協議会・産業建設委員会協議会・広報委員会
24日	文教民生委員会所管事務調査（24日～26日）
31日	全国市議会議長会第160回地方財政委員会
2月6日	総務委員会所管事務調査（6日～8日）
7日	産業建設委員会所管事務調査（7日～9日）
15日	茨城県市議会議長会議員研修会
21日	議会運営委員会・令和5年度予算内示説明会・全員協議会・正副委員長連絡協議会
3月3日	本会議（開会・議案説明）・議会運営委員会
7日	本会議（一般質問）
9日	本会議（議案質疑）・予算特別委員会・総務委員会協議会・文教民生委員会協議会・産業建設委員会協議会
10日	総務委員会
13日	文教民生委員会・文教民生委員会協議会
14日	産業建設委員会
16日	予算特別委員会
17日	予算特別委員会・議会運営委員会・全員協議会・広報委員会
23日	本会議（委員長報告・採決・閉会）・議会改革推進会議

議会を傍聴しませんか

6月定例会会期日程(予定)

- 6月 1日(木) 午前10時 開会・議案説明
- 5日(月) 午前10時 一般質問
- 6日(火) 午前10時 一般質問
- 7日(水) 午前10時 議案質疑
- 8日(木) 午前10時 総務委員会
- 9日(金) 午前10時 文教民生委員会
- 12日(月) 午前10時 産業建設委員会
- 15日(木) 午前10時 委員長報告・採決・閉会

本会議を傍聴される方は、市役所4階議場前の傍聴受付で所定の用紙に住所、氏名、年齢を記入し、傍聴券をお受け取りください。傍聴するには注意事項をお守りください(委員会の傍聴は許可制です。)。また、常陸太田市議会では、本会議映像をインターネットで配信しています。

常陸太田市議会

検索



令和5年度 議会報告・意見交換会を開催します

今年度は「**地域農業について**」をテーマに意見交換会を行います



令和4年度 議会報告・意見交換会の様子

開催日時	会場	対象地区
6月29日(木) 午後6時30分から	里美文化センター	里美地区
6月30日(金) 午後6時30分から	生涯学習センター	常陸太田地区
7月4日(火) 午後6時30分から	交流センターふじ	金砂郷地区
7月5日(水) 午後6時30分から	水府総合センター	水府地区

- 内容は、議会の活動報告、質疑応答、意見交換です。
- 日時、場所等はこちらの都合のよい会場へお越しください。
- 申し込みは不要です。どうぞ、お誘いあわせのうえご参加ください。

編集後記

議会だより172号では第1回臨時会・第2回定例会の主な内容を掲載いたしました。令和5年度の予算の審議内容の掲載などまとめましたのでご覧ください。

この春、東部土地区画整理事業により、市街地に新たな商業施設が次々とオープンし、魅力ある買い物環境と賑わいの場ができました。これにより常陸太田市に新しい交流人口が増え、地元の商店や観光施設等の利用も増えることを期待しています。今後、書店・カフェ・パレルの誘致と地元事業者の出店機会を確保した官民連携の複合施設等を計画中です。楽しみに待ちたいと思います。

これからも、議会だよりを魅力ある広報媒体となるよう、広報委員一同、知恵を出し合い編集してまいりますので、よろしくお願いたします。

広報委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 深谷 渉 |
| 副委員長 | 菊池 勝美 |
| 委員 | 茅根 猛 |
| 〃 | 小室 信隆 |
| 〃 | 森山 一政 |
| 〃 | 根本 剛 |
| 〃 | 石川 剛 |

発行

常陸太田市議会 発行責任者 議長 藤田 謙一

〒313-1861 茨城県常陸太田市金井町3690

電話 0294(72)3111(内線432) FAX 0294(73)1119